



Japan Society of Internship

日本インターンシップ学会 NEWS LETTER 2012 年度 NO.2

目次

- ・ 第 14 回大会準備報告
- ・ 理事会報告
- ・ 年報編集委員会報告
- ・ 広報委員会報告
- ・ 企画研究 WG 報告
- ・ 榎本記念賞 WG 報告
- ・ 組織運営 WG 報告
- ・ 支部活動報告
(北海道支部、関東支部、関西支部、九州支部)
- ・ 2013 年度高良記念研究助成募集について
- ・ 選挙管理委員会からのお知らせ
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 会員情報

第 14 回大会準備報告

第 14 回大会は、2013 年 9 月 7 日(土)・8 日(日)の 2 日間の日程で、北海道武蔵女子短期大学にて開催いたします。

今大会のテーマは「体験の先へ行くインターンシップーこれからの広がりを考えるー」です。これまでの様々な取り組みや大会での議論によるインターンシップの深化を踏まえ、これからのインターンシップの新たな広がりを考えていきたいと思っております。平成 24 年 8 月の中教審答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて」においても、学士課程教育の質的転換を求めるとして、学生の能動的学修を促す教育としてインターンシップ等の教室外学修プログラムについて言及され、インターンシップを中心とする実践的・体験的な学習への注目は高まるばかりといえます。こうした状況の中でインターンシップに関する取り組みの幅を広げるといふ視点から、同様の効果を持つ活動を含めて議論を進めることは意義があると考えました。

これらを踏まえて、今大会では産業界の方に新たなインターンシップ、人材育成を見据えた基調講演をお願いする予定で準備を進めております。さらに、シンポジウムではインターンシップのこれからの広がり考えるきっかけとなる事例として、1)大学での取り組み、2)行政(札幌市)の取り組み、3)高校・専門学校の取り組みについて報告をいただきます。そして、これから先、体験の先を考える場として皆様と議論を進めることができると考えております。

大会プログラムは、一日目は基調講演、シンポジウム、高良記念研究助成報告とし、夕刻からは学内にて懇親会を予定し、二日目午前を自由研究発表といたしました。会員の皆様にはふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、大会内容などの詳細情報につきましては 5 月中旬以降、第 14 回大会ウェブサイト順次掲載いたします。

9 月の北海道は気候もよく、観光や美味しい食も楽しんでいただける絶好の時期です。大会実行委員会をあげて皆様のお越しを心よりお待ちしております。

(第 14 回大会実行委員長 高橋 秀幸・北海道武蔵女子短期大学)

理事会報告

2012 年度第 3 回理事会 (2012 年 11 月 17 日@九州大学)

(1)入退会申請者について

入退会の申請者について、すべて承認された。

(2) 2013 年度高良記念研究助成審査委員会委員の交代について

高良記念研究助成審査委員会の一部委員の交代について了承された。

(3) 2013-2014 年度理事及び会長選挙について

古閑博美会員を選挙管理委員長に、岡本信弘会員及び小林純会員を委員にすることが提案され了承された。また、新理事及び新会長選出スケジュール(案)について了承され、この案に基づき選挙管理委員会に委託することが了承された。

(4)第 14 回大会について

高橋第 14 回大会実行委員長より 2013 年 9 月 7 日、8 日に北海道武蔵女子短期大学において開催予定であることが報告された。

(5)第 13 回大会について

折戸第 13 回大会実行委員長より大会実施報告書を参加者へ配布するとの報告があった。

(6)各委員会・ワーキンググループ報告、各支部報告

各委員長、支部長等より説明があった(詳細は本ニュースレターの記事を参照願います)

2012 年度第 4 回理事会 (2013 年 3 月 24 日@目白大学)

(1)入退会申請者について

入退会の申請者について、すべて承認された。

(2)2013 年度高良記念研究助成の募集について

2013 年度高良記念研究助成について、6 月 14 日を締切で募集することが承認された(詳細は本ニュースレターの記事を参照願います)

(3)2013-2014 年度理事及び会長選挙について

古閑選挙管理委員長より新理事及び新会長選挙の

実施について説明があり承認された。

(4)第 14 回大会について

高橋第 14 回大会実行委員長より大会テーマ、プログラム等について報告があった。

(5)各委員会・ワーキンググループ報告、各支部報告
各委員長、支部長等より説明があった（詳細は本ニュースレターの記事を参照願います）

（事務局）

年報編集委員会報告

年報編集委員会では、編集委員、査読をお願いした会員諸氏、第 13 回大会実行委員会の協力を得て、現在、年報第 16 号の編集作業を進めております。

委員会では、年報の質向上に向けた取り組みとして、昨年度より、査読の充実と共に「緊急座談会」（第 15 号所収）や企画研究 WG との共催セミナー（本ニュースレター「企画研究 WG 報告」をご参照下さい）を実施しました。

第 16 号では、査読充実の観点から投稿論文の締切を前号より 1 ヶ月以上早めましたが、それでも 8 篇の意欲的な投稿が寄せられました。投稿状況を見る限り、深刻な投稿規程違反は減少し、質も徐々に上がってきつつある印象です。

現在、査読結果をとりまとめ、順次、各投稿者にお戻ししているところです。今年度もあと少しですが、第 16 号発行へ向けて、引き続き編集作業を進めてまいります。

（年報編集委員会委員長 稲永 由紀）

広報委員会報告

ニュースレターの表紙リニューアル

前号より、ニュースレターの表紙に学会ロゴが加わりました。これを機に広報委員会において、ニュースレターの編集方針について協議を行い、学会としての統一性を目指した編集を行うことが確認されました。

メルマガ発行について

学会ウェブサイトの最新情報や会員への情報発信としてメルマガの発行を行っております。4 月に入りアドレス変更や新たにメルマガ配信を希望される場合（特に新入会員の皆様）は広報委員会(jsi.prc@gmail.com)まで配信希望アドレスをご連絡ください。

研究業績ならびに取り組み事例の web 掲載のご案内

「会員・大学のキャリア関連業績ページ」の募集を行っております。これは学会員の研究等の活動をウェブサイト上で発信することが目的です。インターンシップに関する研究活動（著書・論文紹介、研究助成金の申請、共同研究の実施など）がございましたら、広報委員会宛にお問い合わせ下さい。

（広報委員会委員長 石田 宏之）

企画研究 WG 報告

企画研究 WG では、インターンシップ研究のさらなる充実に向けて、研究企画へのサポートを中心に活動を行っております。毎年、学会活動をもとにした多数の共同研究が企画され、実施されてきました。

さらに、研究の質を向上させるために、研究成果のとりまとめ方に焦点をあて、2012 年 12 月 23 日（土）に、筑波大学東京キャンパス文京校舎において、企画研究 WG と年報編集委員会との共催によるセミナー、『日々の実践に基づいた研究企画と論文作成に向けて』を開催しました。本セミナーは、単に講演者の報告を聞くというのではなく、企画研究 WG の亀野淳会員、年報編集委員会委員長の稲永由紀会員、古田克利会員の 3 名からの報告を踏まえ、フロアを交えて参加者が活発な議論を行うものです。20 名の参加者と共にインターンシップを巡る学術的な省察の在り方についての意見交換を行うことで、理解を深めるよい機会となりました。こうしたセミナーを全国各地で開催することを期待する感想も多くいただきましたので、今後各地域の支部ともご相談をし、このような活動を続けていく所存です。

（企画研究 WG 委員長 吉本 圭一）

楨本記念賞 WG 報告

楨本記念賞は研究発表の優劣を評価するものではなく、優れた研究発表成果を会員が広く共有することを当面目指しています。

この基本路線に則り、3 月 24 日に目白大学で開催された関東支部 2012 年度第 2 回研究会における各研究発表成果を WG として集約しつつあります。中でも、フランスのインターンシップ制度について研究成果を発表した中央大学の五十畑浩平氏は、社会問題化した偽装雇用についてその経緯と政府の対応等を詳細に分析する優れた先行研究で、WG 内で共有を図ったところです。

今後も、各支部研究会をはじめ、本年 9 月に予定されている第 14 回大会での発表などを対象に、秀逸なインターンシップの基本的な要素とは何かを引き続き追究してゆく方針です。

（楨本記念賞 WG 委員長 加藤 敏明）

組織運営 WG 報告

組織運営ワーキンググループ（WG）では、1 年半余にわたる協議を経て、本年 2 月にワーキンググループとしての改定案をとりまとめ、3 月 24 日の理事會に報告をいたしました。

検討中の主な改定案は以下のとおりです。

- ① 規定と実態が乖離している条項の改定
- ② 論理的矛盾のある条項の改定
- ③ 活性化上導入した方が良いと思われる制度の導入
- ④ 新たな規定の策定
- ⑤ その他

現在、理事の意見集約を行っている最中です。
(組織運営 WG 委員長代行・副委員長 横山 皓一)

支部活動報告 北海道支部

北海道支部 2012 年度総会・研究会を開催

2013 年 3 月 8 日 (金) に 2012 年度の北海道支部総会、第 1 回研究会を札幌国際大学・経済センターキャンパスにて開催いたしました。年度末で忙しい時期ながら、11 名の会員に参加いただきました。

支部総会では、2011 年度活動報告および決算、2012 年度活動方針および予算が承認されました。今年度は 9 月に行われる全国大会 (北海道武蔵女子短期大学で開催予定) の開催をひかえ、北海道支部会員全員で運営委員会をサポートしていくことが決定されました。

その後行われた研究会では、支部会員からの研究報告が行われました。発表者と内容は以下の通りです。

- ① フィンランドの高等教育機関におけるキャリア教育とその規定要因に関する分析—日本との比較を視野に— 亀野淳会員 (北海道大学)
- ② 「高等教育におけるキャリア教育とインターンシップの考え方～キャリア教育とインターンシップに関するアンケートから」 小林純会員 (札幌国際大学短期大学部)

これらの研究発表は、『大学から職業への移行を促すインターンシップを軸としたキャリア教育研究』(基盤 B) (研究代表者・椿明美) の研究成果となっており、支部でも研究活動の支援を行っています。日本の大企業でもインターンシップの導入が進んでいると言われてはいますが、他国との状況を比較すると実際には大きな違いがあるようです。また送り出す側の教育機関においても、キャリア教育の考え方には大きな差が見られます。キャリア教育が義務化された高等教育において、インターンシップはどのような役割を果たすことができるのか。この大きな課題を全国大会で会員の皆様と議論できればと考えております。

(北海道支部事務局・広報委員 小林 純)

関東支部

関東支部 2012 年度役員会を開催

2012 年 12 月 1 日 (土) に、中央大学駿河台記念館において本年度役員会を開催しました。2011 年度収支決算、2012 年度活動方針などが承認されました。

関東支部 2012 年度第 1 回研究会を開催

2012 年 12 月 1 日 (土) に中央大学駿河台記念館において、テーマを「インターンシップと就業力の醸成」とする第 1 回研究会を開催しました。江田佳子氏 (株式会社リクルートキャリア 雇用創出支援グループ・ディレクター) からは「インターンシッ

プの可能性～GLACの成果検証とインプリケーション」として、海外インターンシップのキャリア開発効果についての講演が行われ、次に田中宣秀会員から「エンプロイヤビリティを育むインターンシップの構築～就業とインターンシップに関するアンケート調査結果を踏まえて」が報告されました。50 名を超す教職員や企業人が活発な議論を展開しました。

関東支部 2012 年度第 2 回研究会を開催

2013 年 3 月 24 日 (日) に目白大学において、「インターンシップのキャリア開発効果と就職」のテーマの下に第 2 回研究会を実施しました。奈須野太氏 (経済産業省経済産業政策局産業人材政策担当参事官) による社会人基礎力とインターンシップについての「社会人基礎力の深化とキャリア形成」と題した基調講演がなされ、ついで、五十畑浩平会員 (中央大学) から「フランスのインターンシップによるキャリア開発効果の検証」という報告がありました。その後、学生 8 名 (海外・留学生インターン: 玉川大学、文京学院大学、文教大学、専門・ビジネス・地域・観光インターン: 目白大学、嘉悦大学、東洋大学) からは海外・専門分野の秀逸なインターンシップの体験発表が行われました。それらの報告を受け、インターンシップのキャリア開発効果についてのシンポジウムとして、モデレーターの横山修一会員 (工学院大学)、シンポジストの渡辺裕二氏 (拓殖大学)、千葉隆一会員 (文京学院大学)、牛山佳菜代会員 (目白大学) とフロアによって討議され、最後に那須幸雄会員が全体の総括を行いました。当日は 75 名に及ぶ多数の参加者があり、白熱した議論が展開されました。

関東支部 2012 年度支部総会および第 3 回研究会のご案内

6 月 22 日 (土) 13:00 より、文京学院大学 (最寄駅: 東大前) において、支部総会および、「インターンシップとキャリア開発 (案)」をテーマとする第 3 回研究会を開催する予定です

(関東支部支部長 太田 和男)

関西支部

支部組織の決定ならびに関西支部研究会のご案内

関西支部では、2013 年 3 月に運営委員会を開催しました。支部長、副部長、運営委員の役員につきましてはそのまま続投することになりました (廣瀬副支部長は 3 月から岐阜大学に所属先が変更)。支部の活動方針についても、昨年度からの「インターンシップの教育現場で活躍されている方々に有益な情報と研究成果の提供を行う」との方針を継続することになりました。

また、第 8 回関西支部研究会を 2013 年 8 月 23 日 (金) 夕方に開催することも決定しました。会場は、追手門学院大学の協力を得て、同大学「大阪梅田サテライト」セミナールームを使わせて頂くこととな

りました（JR大阪駅の近くです）。講師は、上記の支部活動方針の下、優れた取り組みをされている近畿大学経営学部の社会員と、大学生協阪神事業連合の吉川氏（インターンシップ担当）にお願いすることとなりました。昨年度の研究会（京都産業大学と立命館大学の事例）に引き続き、関西での先進的な取組事例を紹介いただく予定です。

なお、関西支部第8回研究会の詳細につきましては、決まり次第、学会ウェブサイトなどでお知らせいたします。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

（関西支部支部長 安孫子 勇一）

九州支部

2008年6月27日に設立総会ならびに第1回研究会を開催して九州支部が発足し、この6月でまる5年が経とうとしています。これまで10回の支部研究会を開催し、多くの方々にご参加いただくと共に、インターンシップに関する様々な調査研究、事例報告などを行って参りました。特に九州という地域性から地域とインターンシップとの関係性に焦点をあてたテーマが多かったように思います。

今後も年間1~2回の支部研究会の開催を中心に、支部活動を続けていきたいと考えております。今後とも九州支部をよろしく願います。

（九州支部副支部長 真鍋 和博）

2013年度高良記念研究助成募集について

「高良記念研究助成」制度は、高良和武名誉会長から学会へご寄付いただいた基金をもとに、2007年度よりインターンシップに係る研究・実践活動の発展・普及のため、特に若手研究者の育成や会員相互の研究交流の促進を図ることを目的として、優れた研究課題へ研究助成を行うものです。

この度、2013年度の研究助成の募集を行いますので、会員の皆様には是非ご応募いただきますようお願いいたします。募集要項、申請書式等、申請に係る書類は本ニューズレターに同封しております。学会ウェブサイトでも入手可能です。

申込締切り後、採否を審査、8月の理事会で決定し、研究助成対象者は大会の総会席上にて発表する予定です。助成期間は1年、研究成果は次年度の大会にて発表いただき、さらに研究年報に助成研究として掲載されます。国内外における多様な視点からのインターンシップ研究、その実践活動の展開に関する研究など幅広い研究についての応募をお待ちしております。

※申込締切：2013年6月14日（金）必着

（高良記念研究助成審査委員会）

選挙管理委員会からのお知らせ

2013・2014年度選挙のお知らせ

2013・2014年度理事選出にあたり、理事会より選挙管理委員会委員として岡本信弘会員、小林純会員、古閑博美の3名が委嘱され、選挙管理委員長に古閑博美が選任されました。選挙実施の際は、会員各位のご協力をいただき感謝申し上げます。

開封作業は、5月11日に嘉悦大学古閑研究室にて小林委員と古閑が厳正なる態度をもって行い、該当する理事候補者に電話あるいはメールにて速やかに応諾確認の連絡をいたします。その結果をもとに20日に理事候補者20名を確定し、24日に理事候補者に会長選挙投票用紙を送付します。6月15日に会長選挙投票用紙の開封作業を古閑研究室にて岡本委員と古閑で行います。関係各位には、日程をご確認のうえ、選挙の運営にご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

委員は本職務の重大なることを心得、総会での公表に至るまで責任を持ってことにあたります。

（選挙管理委員会委員長 古閑 博美）

事務局からのお知らせ

「会員情報調査票」提出のお願い

本年3月に「会員名簿」をお送りいたしましたが、4月以降に新天地で活動を開始された会員も多いことと存じます。同封の「会員情報調査票」の確認をお願いいたします。所属・住所等が変わりましたら、速やかに事務局宛お届けください。連絡先が不明になりますと、年報、ニューズレター、大会案内などの会員サービスが受けられなくなりますので、ご注意ください。

会費納入のお願い

本学会は2011年度より事業年度及び会計年度が7月から翌年6月までに変更になっております。ついては、2013年度会費については、7月に別途納入依頼をお送りさせていただきます。

なお、2012年度の会費未納の方は、郵便振替用紙か郵貯銀行からの振込（ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は手数料が無料です）で、下記振込先までお送り下さいますようお願いいたします。銀行振込でも受け付けております。

会費納入先

【郵便振替】

口座番号 02750-1-108419

加入者名 日本インターンシップ学会

【ゆうちょ銀行】

店番 279 （当座）108419

【銀行振込】

北洋銀行 北七条支店（普通）3927955

受取人名 日本インターンシップ学会

（電信振込の場合は、「ニホンインターンシップガクカイ」と入力下さい。）

（事務局）

日本インターンシップ学会 News Letter 2012 No.2

平成 25 年 5 月 10 日発行

発行 日本インターンシップ学会 会長 吉本 圭一

編集 日本インターンシップ学会広報委員会 委員長 石田 宏之

印刷 日本インターンシップ学会事務局 事務局長 亀野 淳

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目

北海道大学 高等教育推進機構 高等教育研究部 キャリア教育支援室内

E-mail jsi-sec@high.hokudai.ac.jp 電話&FAX 011-706-5147

Website <http://www.js-internship.jp/>